

◎市長（山田憲昭君）

シビックプライドの取り組み状況についてお答えをいたします。

この4年間の進捗状況につきましては、魅力ある地域づくりとシビックプライドの醸成における5点の大きな取り組みを設定し、20の事業を推進いたしております。

まず1点目であります。

「コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出」では、白山ろくの自然や文化と魅力を通じて、平野部と山麓の地域間、世代間で交流する、ふるさと交流活動推進支援事業を初め、地域づくりの人材を育てる地域づくりセミナーの開催など、7項目について実践をいたしております。

2点目の「特色ある文化活動の振興」では、文化活動を行う文化団体を支援する文化振興事業補助金を初め、外国人市民との共生を目指す多文化共生事業など4項目を、また3点目の「美しい景観の保全と活用」では、白峰地区伝統的建造物群の保存地区整備と環境整備を初め、桜の鑑賞できる名勝地づくりによる地域活性化を図る桜の名勝整備事業など7項目をやっており、4点目の「連携中枢都市圏の推進」では、白山市、金沢市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町で構成する石川中央都市圏ビジョン懇談会において、自治体間の連携を図り、圏域の市民サービスの向上に資する取り組みを行っております。

5点目の「市民提案型まちづくりに向けた取り組み」では、地域の活性化や魅力の向上に資する事業を実施する団体に支援をする市民提案型まちづくり支援事業を実施いたしております。

いずれの事業も、8月に開催をいたしました総合戦略推進委員会において、検証を行い効果的であったとの評価をいただいております。

なお、最終年度である今年度につきましては、引き続きシビックプライドの醸成に向けた事業を実施するとともに、現在策定中の第2期総合戦略に向けた課題の抽出や見直しを行いながら、事業の改善に努めてまいりたいというふうに考えております。